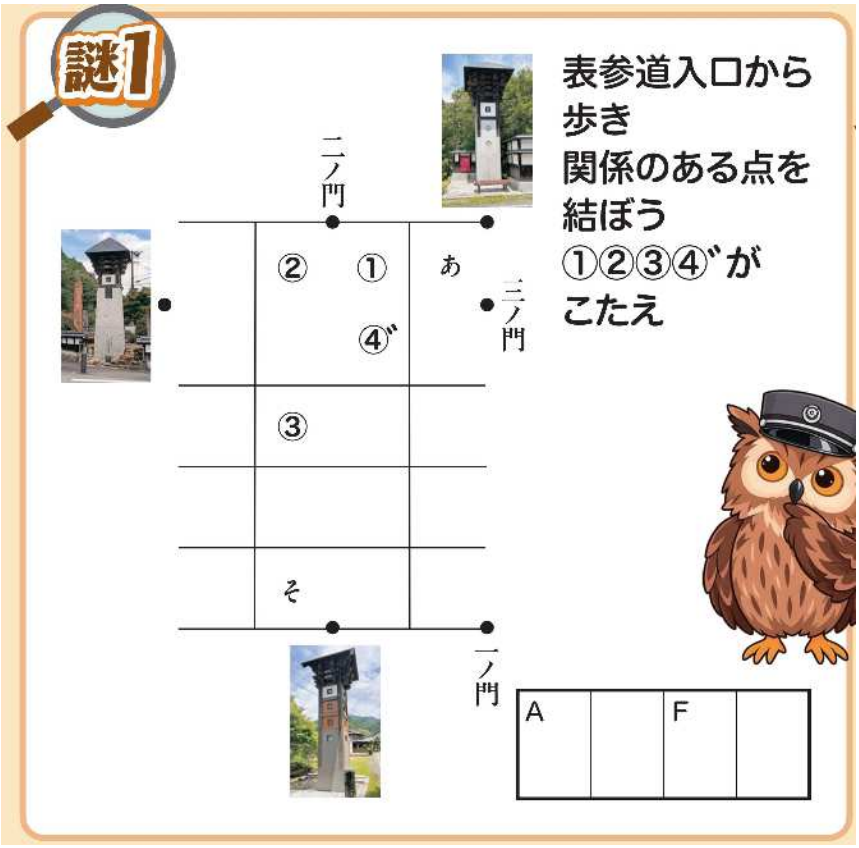
STEP3 | 鳳来寺表参道

ヒント | 謎1 | 表参道の灯籠





現地の目印

HINT 1

場所は、鳳来寺山表参道ガイドマップを参考にしてください。
表参道の灯籠を、問題にある3枚の写真と見比べましょう。そばの石碑に書かれた門の名前や、灯籠の形が手がかりです。

HINT 2

対応する灯籠の写真と「一ノ門· 二ノ門· 三ノ門」の黒い点を、それぞれ直線で結びます。すると、図の区切りが増えて表ができます。

HINT 3

「あ」と「そ」の位置を手がかりに、五十音表を埋めましょう。①〜④を番号順に読み、④の文字に濁点を付けます。

STEP3 | 鳳来寺表参道

ヒント | 謎2 | 池の説明板





現地の目印

HINT 1

場所は、鳳来寺山表参道ガイドマップを参考にしてください。
池の説明板で、問題の白い枠に隠された部分を見比べます。大きな見出しと本文の2か所には、同じ池の名前が書かれています。

HINT 2

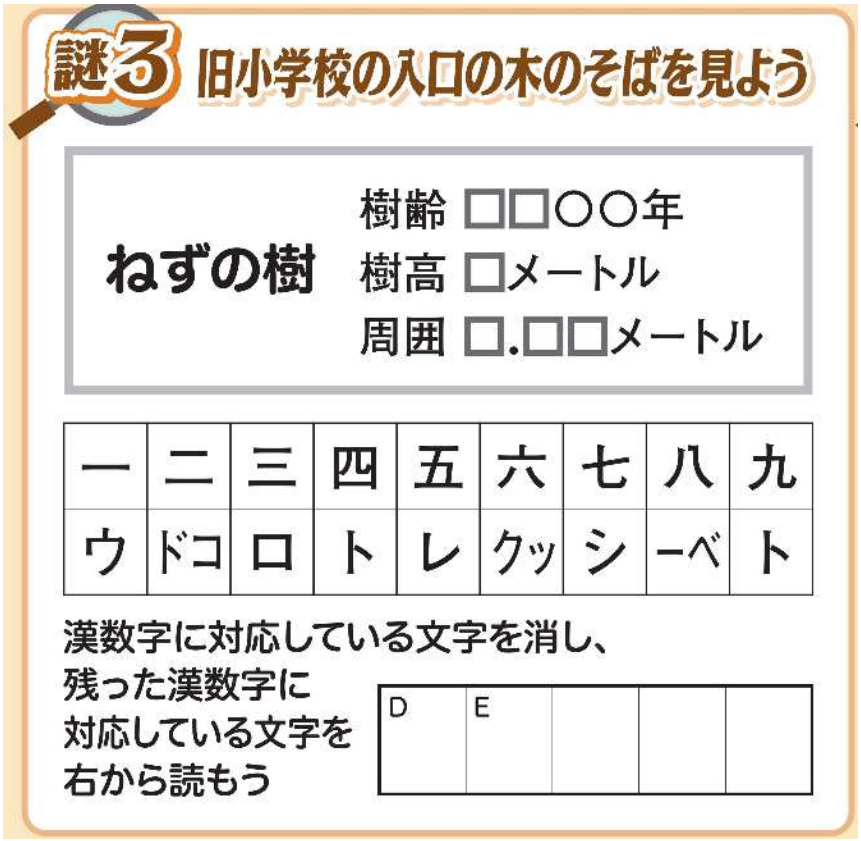
2か所の枠の文字を、右の枠から順に続けて線で結びます。小さな「ゃ」は図の「や」と対応させ、最後までつないだ形を見ましょう。

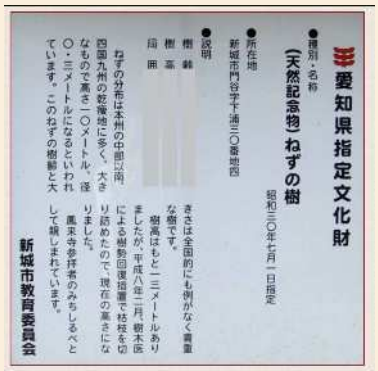
HINT 3

できた三角形の内側にある式を、右側から読みます。青と赤の四角はSTEP2の謎1と同じ数字。「行 - 列」で五十音を読む方法を使いましょう。

STEP3 | 鳳来寺表参道

ヒント | 謎3 | ねずの樹




愛知県指定文化財
●種別・名称
（天然記念物）ねずの樹
昭和三〇年七月一日指定
●所在地
新城市門谷字千浦三〇番地四
●説明
樹齢
樹高
周囲
ねずの分布は本州の中部以南、四国九州の乾燥地に多く、大きなもので高さ一〇メートル、径〇・三メートルになるといわれています。このねずの樹齢と大きさは全国的にも例がなく貴重な樹です。
樹高はもと二三メートルありましたが、平成八年二月樹木医による樹勢回復措置で枯枝を切り詰めたので、現在の高さになりました。
鳳来寺参詣者のみちしるべとして親しまれています。
新城市教育委員会

現地の目印

HINT 1

場所は、鳳来寺山表参道ガイドマップを参考にしてください。
「ねずの樹」の説明板の「説明」欄を見ます。樹齢・樹高・周囲の3項目を、問題の四角に書き写しましょう。

HINT 2

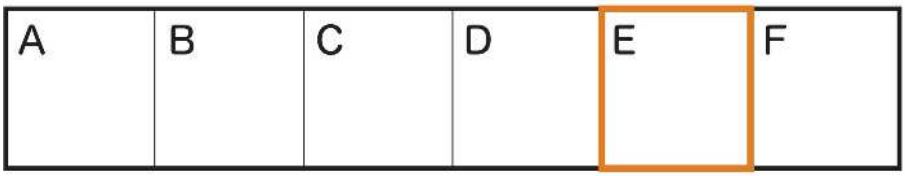
四角に入った数字と同じ漢数字を、下の表から探します。対応する下の文字を消しましょう。樹齢の丸い「〇」の部分は四角に含めません。

HINT 3

残った文字を、1文字ずつ右から読んでください。1つのマスに2文字あるところも、右の文字から読みます。答えはひらがな5文字です。

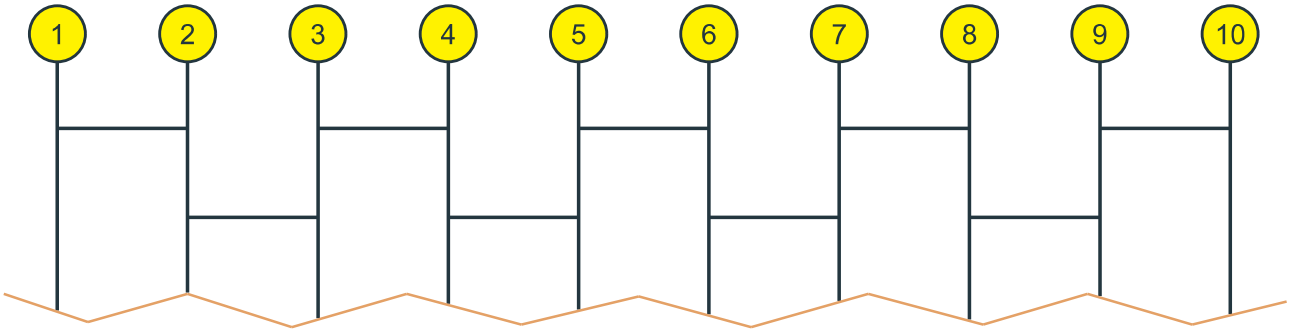
STEP3 | 鳳来寺表参道

ヒント | 謎4 | 破れたあみだくじ



A〜Fから
向かう場所を
見つけよう。

パンフレットのあみだくじ



切れ端の下側は、現地の掲示で確認しよう。

HINT 1

A〜Fに謎1〜3の答えを写し、できた名前の場所へ向かいます。掲示の切れ端を、パンフレットのあみだの下側とつなげて考えましょう。

HINT 2

①〜⑩から1本ずつ、横線に出会ったら必ず隣の縦線へ移ります。到着した枠は、アルファベットだけでなく「色」も一緒に確かめます。

HINT 3

枠の色は、これまでのSTEPを表します。同じ色・同じアルファベットの答えを探し、ひらがなに戻しましょう。小さく書かれた文字にも注目。

STEP3 | 鳳来寺表参道

ヒント | 最後のバス停

謎1 | 謎2 | 謎3 | 謎4 | 最後のバス停



色と記号を手がかりに、答えを日本語へ。

緑 = STEP1	青 = STEP2	橙 = STEP3

HINT 1

到着した色枠の記号を、対応するSTEPの答えに戻します。並べる順番は下の枠の左からではなく、スタート番号①〜⑩の順です。

HINT 2

小さな青枠Dでは、答えのひらがなも小さくして使います。青の文字とオレンジの文字は、同じ記号でも違う答えです。

HINT 3

読めた言葉の前半は地名、後半は英語の施設名です。
日本語での呼び方を考え、ひらがな9マスに書きましょう。
迷ったら、パンフレット裏表紙の最下部も確認しましょう。